

資料1-2

令和5年度 施政方針における主要な取り組み



KIKUGAWA

みどり と き め き た し か な 未 来 菊 川 市

菊 川 市

Change
Chance
Challenge



・失敗を恐れずチャレンジしていく

□ チヤレンジ

・きびしい社会状況からチャンスを見つけ

□ チヤンス

・サービス業並みのおもてなしにチエンジ

□ チエンジ

Challenge !

さらに前へ！住みたいまち菊川市！！

《

菊川市総合計画の5つの基本目標

》

【視点1】『ポストコロナ社会を見据えた取組の推進』

【視点2】『市民の安全・安心のさらなる推進』

子どもが
いきいき
育つまち

健康で元
気に暮ら
せるまち

活気にあ
ふれ地域
の良さを
伸ばすま
ち

快適な環
境で安心
して暮ら
せるまち

まちづく
りに市民
と行政
が共に
取り組
むまち

昨年は、新型コロナウイルス感染症、自然災害、物価高騰などが、私たちの生活に不安と心配を与えました。また、少子化の進行も痛感した1年となりました。

こうした困難な状況に立ち向かっていくため、令和5年度は、第2次菊川市総合計画の着実な推進に、『ポストコロナ社会を見据えた取組の推進』と『市民の安全・安心のさらなる推進』の2つの視点を加え、“さらに前へ！住みたいまち菊川市！！”にChallenge！します。

令和5年度施政方針

◆ **市政運営**の基本的な考え方（P5～15）

2つの視点と5つの背景を踏まえ、**20の推進事業**を掲載しています。

【視点1】『 **ポストコロナ** 社会を見据えた取組の推進 』

＜背景1＞新型コロナウイルス感染症を契機とする **地方への関心** の高まり

＜背景2＞コロナ禍で急速に進んだ **デジタル化**

＜背景3＞コロナ禍による将来の不安や経済的な不安からの **結婚・出産** 控え傾向

【視点2】『 市民の **安全・安心** のさらなる推進 』

＜背景4＞頻発化、激甚化する自然災害に対する **防災対策**

＜背景5＞子どもたちの安全・安心な **教育環境** づくり

◆ **5つの基本目標**への取り組み（P16～44）

総合計画の5つの基本目標に沿って、本年度の主な取り組みについて掲載しています。

<背景1> 新型コロナウイルス感染症を契機とする地方への関心の高まり

①「菊川の茶畑の中心で愛を叫ぶ」事業

拡充

《 1,000千円 》

お茶と愛が繋がる聖地化を目指し、本年度の開催に合わせて「お茶の間テラス」を設置するなど、市内外から訪れた人に愛を叫んでもらうとともに、菊川の茶園の景観を楽しみながら菊川茶を堪能していただき、本市と特産品「菊川茶」の知名度向上と交流人口の拡大を目指します。

②火剣山キャンプ場の整備事業

新規

《 18,123千円 》

コロナ禍においても人気のある火剣山キャンプ場に注目し、ソロキャンパーなどの自由度を求める人へのフリーサイトの整備や、予約期間の短縮を可能にするキャッシュレス決済を想定したWi-Fi環境の整備などを行い、民間事業者のノウハウを活用した運営方法への転換を図り、利用者の満足度を高めることで、交流人口の拡大に繋げていきます。



<背景1> 新型コロナウイルス感染症を契機とする地方への関心の高まり

③大河ドラマ「どうする家康」関連事業 **新規**

《 6,661千円 》

本年1月から放映が始まっている大河ドラマ「どうする家康」を契機として獅子ヶ鼻砦跡など、家康公にゆかりの地や周辺観光スポットなどを巡っていただけるようレンタサイクルを活用した市内周遊を促進します。



④「きくがわ応援大使」事業 **拡充**

《 2,476千円 》

首都圏で開催する交流会や会員を対象としたモニターツアーの実施により、菊川市への愛着を深めていただくとともに、外からの目線での菊川市の魅力や課題を把握し、今後の移住定住施策に繋がります。



登録をお待ちしております！

【申込はこちら】

<背景1> 新型コロナウイルス感染症を契機とする地方への関心の高まり

⑤ 「産業支援センター（仮称）」の開設

新規

創業や事業承継を希望する事業者からの相談をワンストップで対応することにとどまらず、出張中の隙間時間にデスクワークやオンライン会議で仕事を進めることができる場の提供や近年、数多く誕生しているスタートアップ企業などが集う「コワーキングスペース」を開設し、人・企業とのマッチング機会を創出することで、関係人口の拡大を図ります。

施設の内装はデザインにこだわったスタイリッシュなものとし、見た目も機能も全国から注目される施設の開設準備を進めます。

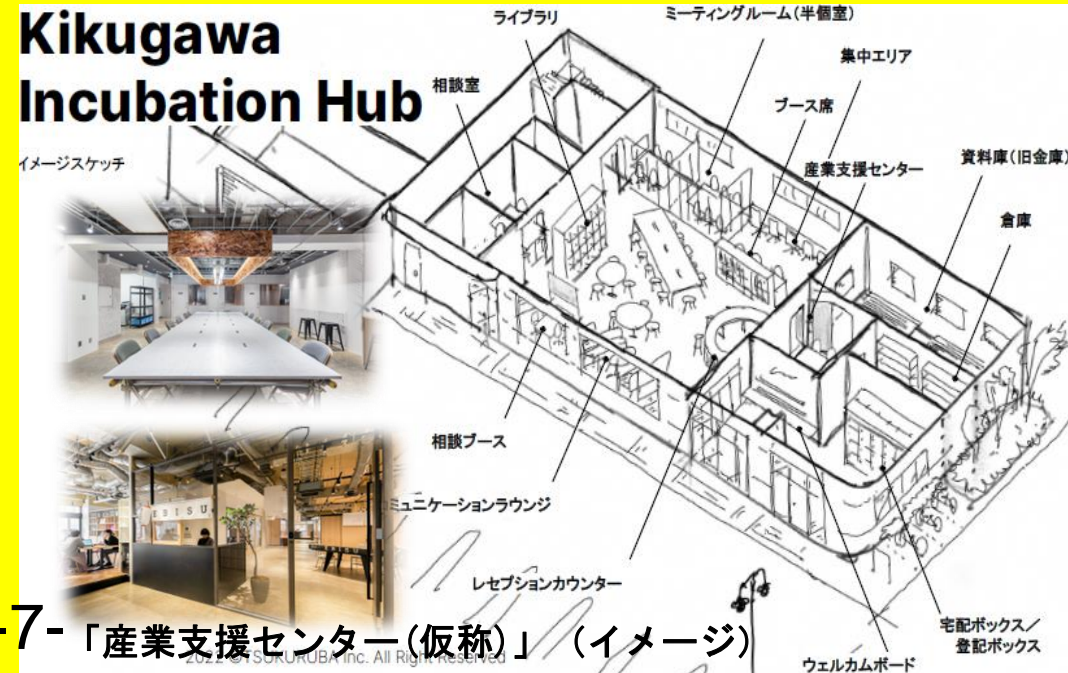
《R5年度》

予算額 **33** 百万円



Kikugawa Incubation Hub

イメージスケッチ



-7- 「産業支援センター（仮称）」（イメージ）

<背景1> 新型コロナウイルス感染症を契機とする地方への関心の高まり

⑥ JR 菊川駅 南北自由通路整備事業

継続

南北自由通路及び新駅舎
(南側のイメージ)

《R5年度》予算額

761 百万円



【工事期間：令和4年度～9年度】

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
詳細設計	■	■				
仮設工事		■	■			
仮駅舎設置工事		■				
自由通路工事			■	■	■	
仮駅舎撤去工事					■	■
南口駅前広場復旧工事					■	■
北口駅前広場整備工事					■	■

引き続き南北自由通路の整備を進めるとともに、駅周辺の賑わいづくりによる関係人口の獲得に取り組んでいきます。駅周辺のオープンスペースを活用した滞留空間の創出や商業施設の立地を促すため、関係者によるワークショップや事例調査を実施し、菊川駅周辺空間の具体的な活用計画を研究します。

<背景2> コロナ禍で急速に進んだデジタル化

⑦道路台帳のデジタル化事業 新規 《 75,750千円》

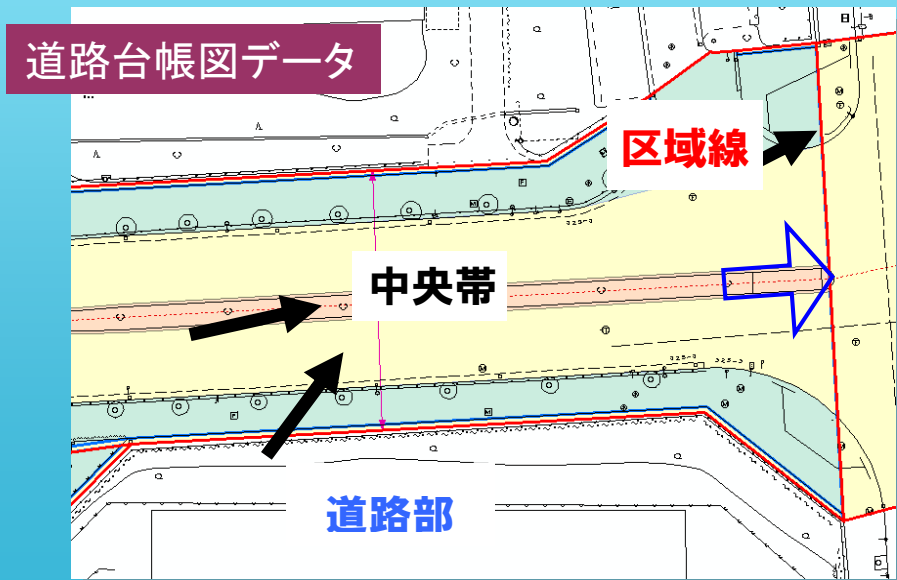
国が進めるデジタル田園都市国家構想の交付金を活用し、アナログ管理している道路台帳をデジタル化し、住民公開型GIS(きくのんマップ)に公開することで、事業者がオフィスや自宅などあらゆる場所からいつでも無料で、必要な情報をパソコンやスマートフォンから入手できる環境を整えます。

⑧電子図書館システムの導入準備 新規 《 3,270千円》

生涯学習の拠点である図書館において、時代のニーズと利用者の利便性を高めるため電子図書館システムの導入準備を進めていきます。

⑨スマート農業導入研修会の開催 新規 《 100千円》

スマート農業の実践者から取組を学ぶスマート農業導入研修会を開催することで、茶園管理の効率化の推進や市内の茶生産手法の改革に取り組みます。



結婚・出産

#結婚支援
#出産支援
#子育て支援

ポストコロナ

<背景3> コロナ禍による将来の不安や経済的な不安からの結婚・出産控え傾向

⑩「結婚新生活支援事業費補助金」 拡充 《 9,000千円 》

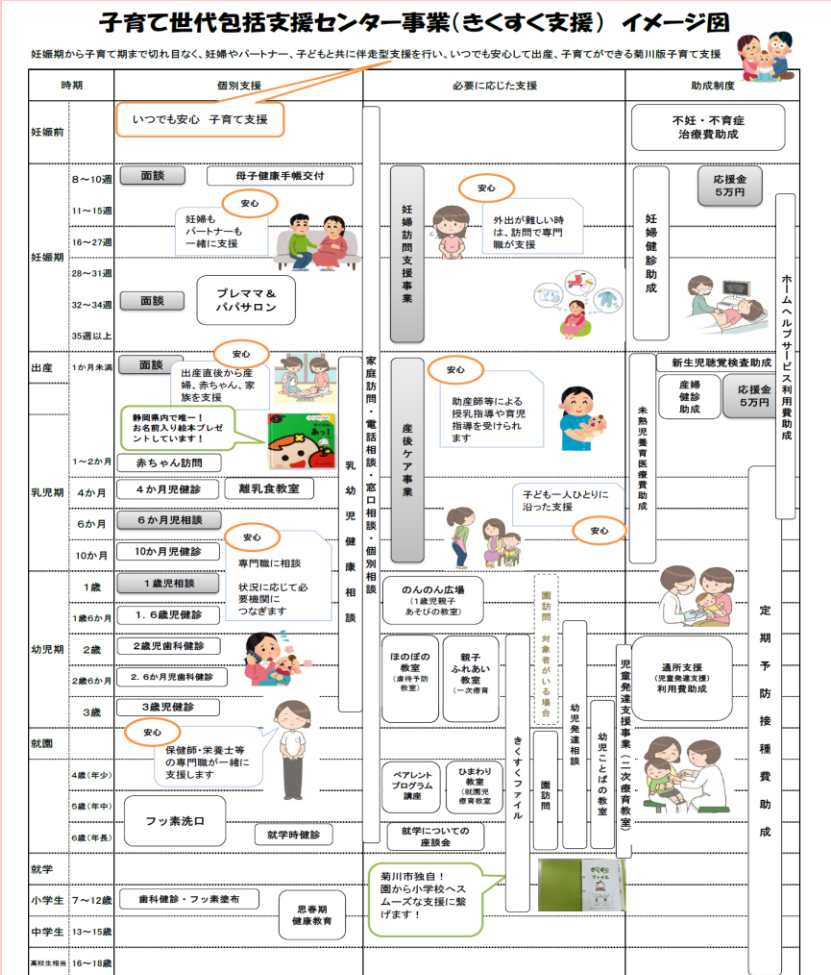
新婚世帯に対し新生活における経済的負担を軽減する「結婚新生活支援事業費補助金」を拡充していきます。



⑪「出産・子育て応援金」事業 継続 《 39,888千円 》

全ての妊婦や子育て家庭に対しては、安心して出産・子育てができる環境を整えるため、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型相談支援に加え、出産育児関連用品の購入費助成などの出産・子育て応援金の支給を一体的に実施します。

安心して子育てができる切れ目のない支援イメージ



<背景3> コロナ禍による将来の不安や経済的な不安からの結婚・出産控え傾向

⑫「こども医療費助成制度」 **拡充** 《 244,822千円 》

子育て家庭の経済的な支援を図るため、令和5年10月から現行の「こども医療費助成制度」を拡充し、0歳から高校生年代までの医療費を完全無料化します。これにより本市は全国トップ水準の仲間入りとなります。



(仮称)小笠北認定こども園 (イメージ)



⑬ (仮称)小笠北認定こども園整備事業

継続 《 24,171千円 》

小笠北幼稚園の認定こども園化に向け園舎の建設準備を進め、公立幼保施設の役割を明確化するとともに、民間幼保施設と連携して質の高い教育と保育を提供していきます。



<背景4> 頻発化、激甚化する自然災害に対する防災対策

⑭ 防 災対策強靱化事業

新規

《R5年度》

予算額 **176**百万円



大雨による浸水被害が頻発する市南部地域において、黒沢川・棚草川に隣接する区域への雨水貯留施設の整備に取り組みます。



市役所本庁舎敷地一帯の防災機能を高めるため、老朽化した堀之内体育館を建て替えるとともに、災害対策本部棟を新築します。

<背景4> 頻発化、激甚化する自然災害に対する防災対策

⑮掛川浜岡線小笠バイパス整備 **継続** 《 304,802千円 》

南北を繋ぐ主要路線である掛川浜岡線小笠バイパスの改良工事を引き続き進め、市民の皆さまが快適に暮らすための幹線道路としてだけでなく、火災・救急・大規模災害などの各種災害時における緊急輸送路としての基盤強化も図ります。



⑯朝日線アンダーパス冠水対応 **拡充** 《 13,552千円 》

豪雨による水位を事前に予測する機能を持つ水位観測機器を旧村川に設置し、職員の迅速な初動体制を確保していきます。また、道路状況を運転手に知らせることができる冠水ボラードを朝日線アンダーパスに設置し、冠水した道路への進入を防ぎ、安全を図っていきます。



<背景4> 頻発化、激甚化する自然災害に対する防災対策

⑰ 河川に堆積した土砂の浚渫工事 **拡充** 《 32,232千円 》

市内の河川に堆積した土砂の浚渫工事を実施し、排水路の流下能力を確保することで、浸水及び冠水対策を行います。



国や県と連携し、令和元年度から令和3年度末までに菊川及び牛淵川の本川、支川で約23万4千m³の土砂を搬出しました。河川の流下能力が大幅に確保され、令和4年9月23日の台風第15号の時にもその効果がありました。

⑱ 災害情報の収集・整理のデジタル化 **新規** 《 220千円 》

災害発生時の情報収集手段の多様化については、現状では自主防災会や市民、警察などの関係機関からの電話による通報により把握しておりますが、スタートアップ企業からパブリックピッチの場で提案のあった「SNSに投稿された不特定多数の災害情報をAIでリアルタイムに整理するシステム」を本年度試行的に導入します。



<背景5> 子どもたちの安全・安心な教育環境づくり

⑱通学路の環境整備 継続

《 146,250千円 》

小笠北小学校・岳洋中学校の児童・生徒の通学路となっている市道井矯堂線の道路改良工事に取り組むとともに、六郷小学校の通学路である三堂上川原線の道路改良工事を実施し、安全に通行できるよう道路環境の整備を進めます。

⑳学校施設の環境整備 継続

《 152,189千円 》

子どもたちが安全で安心した学校生活を送ることができるよう六郷小学校昇降口棟の耐震補強工事を実施するなど、教育環境の整備を進めます。



◆5つの基本目標

基本目標



子どもの健やかな成長と、家庭の経済的負担軽減

◆家庭児童相談室事業 **拡充** 《 6,540千円》

こども家庭センター設置に向けて家庭児童相談システムを導入するとともに、ヤングケアラーや児童虐待防止対策の強化を図ります。

◆こども医療事業 **拡充** 《 244,822千円》

こども医療費助成制度を拡充し、令和5年10月から0歳から高校生世代までの医療費の無料化を行います。

◆子育て世代包括支援センター事業 **拡充**

《 43,786千円》

すべての妊産婦や子育て世帯に対し伴走型相談支援の充実と経済的支援により安心して出産・子育てができる環境を整えます。

より質の高い教育や保育を提供

◆菊川市保育士等キャリアアップ事業 **新規**

《 1,574千円》

保育士等キャリアアップ研修を開催し幼児教育や保育を担う人材の資質の向上を図ります。

◆保育所等物価高騰対策支援事業 **新規**

《 6,557千円》

保育所等の光熱費や給食食材など、物価高騰による急激な変化に対応するため、保育所等や保護者の負担を軽減する市独自の支援を行います。

◆地域子ども・子育て支援事業

新規

《 96千円》

おおぞら認定こども園の民営化に向けた検討を行うため、(仮称)民営化運営法人選定委員会を設置します。



◆幼保施設整備事業

新規

《 24,171千円》

小笠北幼稚園の園舎の老朽化及び認定こども園化に向けた園舎整備の実施設計を行います。

GIGAスクール構想、ICT教育の推進

◆ICT教育推進事業

拡充

《 216,132千円》

※R4繰越明許含む

ICT教育の推進に向けて、GIGAスクールサポーターを配置し、児童生徒及び教員のサポートを行います。また、市内12校における校内ネットワークを2カ年かけて実施するほか、これまで整備してきたタブレット端末やネットワーク環境等を引き続き快適に利用できるよう維持・管理を行います。



個に応じた指導の充実、主体的・対話的で深い学びの実現

◆個に応じた指導事業 **継続** 《 91,668千円》

一人ひとりの発達や成長をつなぐ視点で資質や能力を育成していくために、学級学校支援員等を配置して「個に応じた指導」の充実を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。また、外国籍を含めた全ての子どもの可能性を引き出していけるよう、特別支援教育や心の教室等の充実を図ります。

学校施設の耐震化・長寿命化

◆国庫補助小学校施設整備事業 **継続** 《 116,154千円》

※R4繰越明許含む

- ・耐震性がやや劣る六郷小学校昇降口棟の耐震補強、屋上防水改修工事を実施します。
- ・河城小学校屋内運動場におけるトイレ洋式化工事及び照明取替工事(LED化)を実施します。
- ・河城小学校校舎へ多機能トイレを設置します。

◆国庫補助中学校施設整備事業

継続

《 36,035千円》

※R4繰越明許含む

- ・菊川東中学校屋内運動場におけるトイレ洋式化工事及び照明取替・菊川東中学校校舎へ多機能トイレを設置します。
- ・2中学校の屋内運動場照明取替工事(LED化)実施設計を実施します。

学校給食の提供

◆給食運営事業 **継続** 《 350,034千円》

物価高騰による給食食材の上昇に伴い、昨年度に引き続き給食費の保護者負担を増やすことなく、児童・生徒・園児に栄養バランスや量を保った安全でおいしい給食を提供します。





小中一貫教育「学びの庭」構想

◆小中一貫・連携教育推進事業

継続

《 7,259千円》

「小・中学校間のたでの接続」と「学校と地域社会のよこの連携」を基盤とした小中一貫教育「学びの庭」構想を推進するため、小学校同士や小中学校合同での行事や地域と企業さらに地元の高校と連携した教育活動を行います。

令和6年度からのコミュニティ・スクール導入に向け、9年間の一貫性をもった教育の推進や学校と地域との連携についてコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組も含め検討を行います。また、少子化が進む中、学校施設の将来の在り方についても検討します。



青少年の健全育成

◆青少年学習事業

継続

《 1,523千円》

人間性豊かな青少年の育成を図るため、ボランティア体験などの学びの機会を提供します。また、友好交流都市である小谷村での集団生活体験を実施します。



健康寿命の延伸や健康格差の縮小

◆健康増進事業 **拡充** 《 3,931千円》

主に40歳からの健康づくりや生活習慣の改善に向けた正しい知識の普及・啓発を行い、高齢期になっても元気で生活することができる市民を増やします。また、身近な場所で気軽に手軽に健康チェックなどを行うことができる出張健康相談事業「茶ちゃっと！出張健康チェック」を行います。



◆総合検診事業 **継続** 《 41,655千円》

がんや疾病の早期発見、早期治療のための検診を実施します。また、多くの人に受診してもらうよう、併せて受診勧奨をします。

◆健康マイレージ事業 **継続** 《 266千円》

多くの世代に健康づくりの取り組みを広げることを目的に、健康づくりのきっかけとなるよう、ポイントを貯めて特典が受けられる楽しさを感じる健康マイレージ事業を実施します。

◆地区活動推進事業 **継続** 《 3,710千円》

本年度で第2次菊川すこやかプランが期間終了となることから、だれもが住み慣れた地域で健康に安心して暮らし続けることができるまちを目指し、生活機能の維持・向上の観点も踏まえた、次期計画の策定を進めます。

地域包括ケアシステムを更に深化・推進

◆介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定事業 **継続** 《 3,625千円》

保健・医療・福祉の関係者及び地域住民が参加する会議を開催し、地域包括ケアシステムを更に深化・推進する「第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画」を策定します。



家庭と地域で進める災害時要配慮者対策

◆避難行動要支援者支援事業 **拡充** 《 721千円》

みんなで命を守る安心・安全な地域づくりを推進するため、家庭と地域で進める災害時要配慮者対策についての自助、共助、公助の役割分担の指針を示すガイドラインとなる「避難行動要支援者避難支援プラン」を策定します。

持続可能な医療提供体制の確保

◆菊川病院運営事業 **継続** ※病院事業会計 (一般会計繰出金) 《 1,125,000千円》

菊川市立総合病院と菊川市家庭医療センターでは急性期から在宅まで切れ目のない医療を提供するとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症に対する院内の感染対策を実施していきます。

適切な医療提供体制の確保のため、一般会計から繰出金を支出します。

生涯学習の拠点整備(読書環境・文化会館アエル)

◆読書活動推進事業 **継続** 《 1,029千円》

子ども読書活動を推進するため、子どもたちに読書の大切さ、楽しさを伝えるイベント等を開催し、参加者数の増加を図ります。

◆図書館事業 継続 《 66,502千円》

貴重な歴史的資料をデジタル化し、「菊川市デジタルアーカイブ」として画像データや資料別リストをホームページ上で公開する取組みを拡充します。また、いつでもどこでも本を読む機会を提供するため、電子図書館システムの導入準備を進めます。

◆文化会館整備事業 継続 《 232,359千円》

市民の文化・芸術活動の拠点として施設の適正な運営管理を図るため、経年劣化が見られる菊川文化会館アエルについて、

大・小ホール舞台照明設備等、各種設備の改修を実施します。



文化財の保存・継承

◆文化財保護事業 継続 《 4,031千円》

・文化財を保護・継承するために、応声教院山門の保存修理や耐震補強の費用の積算のための支援を行います。

・菊川市の歴史をより多くの市民に知ってもらい、楽しく郷土を学ぶために菊川市歴史検定事業にて教本づくりを実施します。



◆菊川城館遺跡群整備事業 **継続** 《 9,964千円》

文化財の保護・継承・活用を図るため、横地城の樹木維持管理計画の策定と、園路整備やサイン看板などの実施設計を行います。

健康で生きがいを持てるスポーツの振興

◆スポーツ推進委員活動事業 **継続** 《 3,024千円》

スポーツ推進委員と連携し、事業実施に係る連絡調整及び各種スポーツイベント等の企画・運営について協議し、スポーツ事業の推進を図ります。



◆生涯スポーツ推進事業 **継続** 《 2,054千円》

市民の健康、体力づくりや生きがいづくりにつながる一人1スポーツを推奨することにより、誰もがいつでも気軽に取り組むことのできるスポーツ教室を開催します。

◆スポーツ大会推進事業 **拡充** 《 5,246千円》

誰でも参加できるスポーツ教室やパラスポーツを含めたイベントを開催します。また、常葉大付属菊川高校の甲子園出場や菊川市にゆかりのある方2人がプロ野球選手になるなど、地元の野球に注目が集まっていることから、子ども達に夢を与えることができる野球関連イベントを実施します。





基本目標 2

健康で元気に暮らせるまち

保健・福祉・医療・社会教育



◆公園体育施設整備事業

拡充

《 112,216千円》

スポーツ施設の整備として、菊川公園グラウンド夜間照明のLED化を実施します。また、菊川運動公園野球場防護フェンス及び尾花運動公園トイレを改修します。



◆堀之内体育館整備事業

新規

《 16,489千円》

※再掲あり(基本目標 4:堀之内体育館整備事業)

スポーツ活動の場と環境の充実を図るため、老朽化している堀之内体育館の建て替えに必要な基本設計を実施します。なお、災害時には災害支援拠点としても活用します。

中小・小規模事業者等の事業承継、創業を支援

◆創業支援・事業承継支援事業

拡充

《 33,777千円》

専門的な知識を有する相談員が常駐し、事業承継や創業希望者に対する相談に応じます。また、セミナー・交流会などを開催するワンストップ相談窓口の開設及び販路拡大などの事業者の課題を解決すべく、コワーキングスペースを相談窓口内に開設します。



新規就農者の支援と農産物の販路拡大

◆地域特産物推進事業

拡充

《 1,120千円》

地域特産作物として推進する作物について、生産者の確保や販路開拓を推進します。

◆複合経営推進事業

継続

《 559千円》

水稻生産者の高付加価値作物との複合経営を推進することにより、農業者の所得の安定・向上を図ります。

◆女性の就農推進事業

新規

《 1,287千円》

農業分野での女性の活躍、営農参画を支援するため、必要な支援策を検討するとともに、市内外からの就農を促すための情報発信をします。



基本目標 3

活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

産業

◆担い手確保育成推進事業 **拡充** 《 15,659千円》

農業次世代人材投資資金や経営継承・発展等支援事業費補助金により農業の担い手や新規就農者を支援します。

人・農地プラン(地域計画)については、令和6年度末までに地域農業の将来のあり方及び将来の担い手を記した目標地図を含めた地域計画を策定します。

◆農業活動推進事業 **拡充** 《 5,394千円》

新商品メニュー用の「のぼり旗」等の制作や、農業関係団体への負担金、補助金等を交付します。



◆農業経営基盤強化推進事業 **継続** 《 17,637千円》

市内の荒廃農地の再生及び農地集積により経営規模拡大を促進するため、荒廃農地再生・集積促進事業補助金等の交付による支援を行います。



◆水田農業経営所得安定対策推進事業 **継続** 《 1,432千円》

経営所得安定対策推進事業により、食料自給率の向上及び農業の多面的機能を維持することにより、地域農業の継続と活性化を図ります。



基本目標 3

活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

産業

茶園生産力の向上

◆茶生産経営体育成推進事業 **継続** 《 1,450千円》

茶価低迷や担い手不足、また生産費高騰による経営圧迫などの将来にわたる安定的な茶生産の維持が危惧されるなか、経営体の生産計画の支援を行い、将来にわたる安定的な営農が可能な生産組織体制や人材育成などの事業を行う団体を支援します。

◆茶園管理推進事業 **継続** 《 6,005千円》

活力ある茶業の振興を推進するため、茶園集積・再編による機械化に対応した生産性の向上や省力化を図るため、農地中間管理事業を活用し、茶園集積を行い園地整備等を行う茶工場又は生産者に対して支援するとともに、GAP制度等を推進することにより信頼性の高い茶業生産体制を確立します。

茶の販売促進やPR活動の強化

◆茶業振興事業 **拡充** 《 13,571千円》

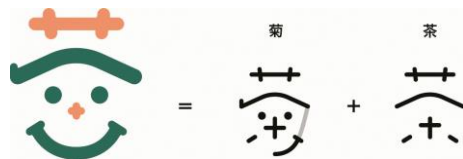
菊川茶の宣伝と消費拡大事業等を実践し、茶業の安定及び発展を図ることを目的とした菊川市茶業協会に対し負担金を支出するとともに、菊川茶のブランドの確立を目指し、事業の進捗を図ります。また、観光資源としてお茶の間テラスを設置し、県外からのグリーンツーリズムや「茶畑の中心で愛を叫ぶ」の開催に合わせて茶文化を国内外にアピールします。



基本目標 3

活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

産業



◆農業振興事業(茶業) **拡充** 《 805千円》

第2次菊川市茶業振興計画の進捗を図るため、茶業審議会・茶業振興計画検討委員会及び茶園の将来にわたる安定管理の仕組みづくりに向けた新たな推進協議会の設置と運営を支援します。また、茶文化の継承、海外への普及事業を推進する世界緑茶協会を支援します。

観光(火剣山キャンプ場・徳川家康公が築いた獅子ヶ鼻砦跡)

◆火剣山キャンプ場管理事業 **拡充** 《 25,431千円》

令和6年度からの指定管理者制度導入に向けて施設改修を行い、利用者の増加に繋がります。





基本目標 3

活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

産業

◆観光情報発信事業 **継続** 《 3,602千円》

市内外におけるイベント及び観光情報を収集、整理して市内外に情報発信を行うことにより、菊川市の認知度を向上させ、誘客を図ります。

◆蓮池公園管理事業 **継続** 《 4,991千円》

蓮池公園及び獅子ヶ鼻砦跡の管理を実施します。

◆小菊荘管理事業 **継続** 《 12,307千円》

小菊荘を休館し、新たな運営方法が決定するまで施設の管理を実施します。

◆交流促進事業 **継続** 《 5,230千円》

・地域おこし協力隊を新たに募集するとともに、地域資源の情報を発信し、地域行事やイベント開催支援、地場製品の販売・プロモーション、都市との交流事業に繋がります。

・市の魅力発信事業や市内の賑わいづくりのための交流促進事業を市観光協会等に委託します。

◆市観光協会連携事業 **拡充** 《 23,438千円》

・令和4年度に県観光協会が実施したデータ分析や大河ドラマ「どうする家康」を活用し、観光客の市内周遊に繋げていきます。

・市観光協会が行う誘客事業に助成するとともに、菊川産業祭を開催し、交流人口の増加を図ります。



基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

市南部地域における雨水貯留施設の建設

- ◆菊川流域治水対策事業 **継続** 《 34,166千円》
菊川水系流域治水プロジェクトにより、黒沢川流域の公共用地等を活用した雨水貯留施設の整備を行います。

市役所本庁舎敷地一帯の防災機能強化

- ◆庁舎施設整備事業 **新規** 《 30,657千円》
来庁者の安全確保と庁舎の長寿命化を図るため、本庁舎外壁改修に係る実施設計及び一部改修を実施します。
- ◆庁舎旧北館解体事業 **新規** 《 86,900千円》
市役所敷地の有効活用及び保有施設の適正化を図るため、老朽化した本庁舎旧北館を解体します。

- ◆防災施設等整備事業 **新規** 《 7,988千円》
災害発生時に災害対策本部の機能が確実に発揮できるよう、災害対策本部棟の整備を行います。本年度は基本設計を実施します。

- ◆堀之内体育館整備事業 **新規** 《 16,489千円》
※再掲あり(基本目標 2:堀之内体育館整備事業)
スポーツ活動の場と環境の充実を図るため、老朽化している堀之内体育館の建て替えに必要な基本設計を実施します。災害時には災害支援拠点としても活用します。



基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

地域防災力の向上と災害時の情報発信

◆大規模地震対策等総合支援事業(自助) **継続** 《 1,680千円》

高齢者世帯などの安全確保のため、家庭内の地震対策を支援します。

- ①耐震シェルター整備費補助金、②防災ベッド購入費補助金、③感震ブレーカー設置補助金、④家具転倒防止事業

◆大規模地震対策等総合支援事業(共助) **継続** 《 13,578千円》

防災組織の育成強化と防災意識の高揚を図り、地域防災力の基盤整備を図ります。



◆大規模地震対策等総合支援事業(公助) **継続** 《 19,369千円》

大規模災害に備え、被災者支援のためのアルファ化米や粉ミルクなどの食糧、紙おむつや携帯トイレなどの生活物資及び発電機や間仕切りなどの資機材の備蓄を計画的に進めます。

基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

◆防災対策事業 **継続** 《 408千円》

自主防災会や避難所運営委員会等の地域防災の担い手となる人材を育成するため、静岡県ふじのくに防災士資格の取得に対し補助等を行います。

◆自主防災組織事業 **継続** 《 1,773千円》

自主防災会を対象とした説明会の開催や防災指導員の活動を通して地域防災力の向上を図ります。

◆災害情報発信事業 **継続** 《 22,307千円》

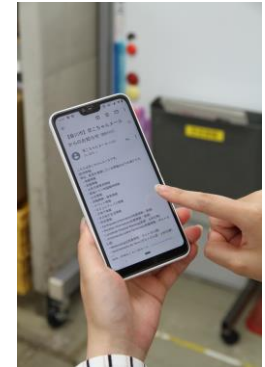
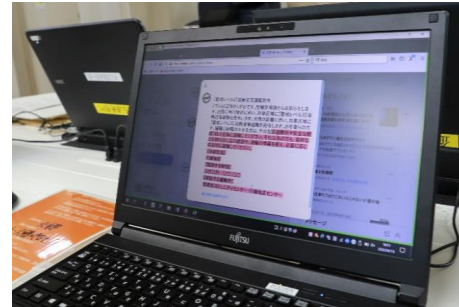
※一部、再掲あり

(基本目標 5: 情報発信・発信力向上事業)

正確な情報を最適な手段によって迅速に発信するため、同報無線・茶こちゃんメール・ホームページ・公式SNS・dボタンなど様々な手段を活用した情報発信の充実に努めます。

◆災害状況AI収集事業 **新規** 《 220千円》

AIを活用し、災害状況を収集するシステムを試験的に導入します。



◆女性の防災啓発事業 **継続** 《 632千円》

女性が防災活動に参加してもらうため、女性目線での防災対策を推進します。

地域公共交通

◆バス路線維持対策事業 **継続** 《 9,597千円》

市民の通勤・通学・通院等の重要な交通手段となっている萩間線及び菊川浜岡線の路線を維持します。

基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

◆コミュニティバス推進事業

拡充

《 43,350千円》

路線バスが運行していない交通空白地域の解消を目的とし、定時定路線運行7路線及びデマンド運行2路線を運行します。デマンド運行については、運行本数の増加に加え、指定降車区域内であればどこでも降車可能とし、利便性を向上させます。



複雑多様化する火災や救急・救助活動への対応

◆消防施設等整備事業

継続

《 5,732千円》

大規模災害に備えた防災資機材や、各種感染症に備えた感染症対策備蓄資機材を更新整備するとともに、火災時の重要施設である消防水利の適切な維持管理を行います。

◆消防自動車等整備事業

継続

《 36,773千円》

複雑多様化する火災等の災害出動に備え、老朽化した消防団消防ポンプ自動車及び資機材搬送車を更新します。

◆貯水槽整備事業

継続

《 25,987千円》

火災時の重要施設である耐震性貯水槽を整備し、災害時に迅速な対応ができる体制を確保します。

基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

消防団の活動支援

◆消防団運営事業 **拡充** 《 56,480千円》

消防団員の活動に必要な資機材や個人装備品を配備し、安全に活動できる体制を整備するとともに、準中型免許の取得補助を行います。また、災害時の活動報酬の増額を行います。



脱炭素社会構築へのロードマップと持続可能な社会の実現

◆地球温暖化対策事業 **継続** 《 5,423千円》

地球温暖化対策のため、「地球温暖化対策実行計画」の区域施策編の策定に取り組むとともに、太陽光発電システムなどの設置者に対して補助金を交付します。また、子どもたちが家庭でできる地球温暖化防止に挑戦するアース・キッズ事業の実施や、環境マネジメントシステム「エコアクション21」を継続して取り組みます。



ごみ減量の取組と資源循環型社会の形成

◆分別収集等奨励事業 **継続** 《 72,965千円》
 一般家庭ごみの減量と食品ロスの削減、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)を推進し、循環型社会の形成に取り組みます。「生ごみ処理機購入費補助金」による支援を継続し、一般家庭ごみの減量を図ります。

◆塵芥収集事業 **継続** 《 71,675千円》
 ごみの適正排出のため、ごみカレンダーや指定ごみ袋の作成、可燃・不燃物収集業務委託を実施します。

生活排水対策

◆浄化槽設置事業 **継続** 《 58,530千円》
 生活排水処理の向上・環境への負荷軽減を図るため、浄化槽の設置費に対し補助金を交付します。
 合併処理浄化槽への付け替えを推進します。



◆公共下水道整備事業 **継続** 《 275,858千円》
 ※下水道事業会計(一般会計繰出金)
 菊川水系の水質浄化を図るため、下水道の整備を実施します。

基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

上水道の施設整備

◆水道建設改良事業 **継続** 《 449,206千円》

※水道事業会計(建設改良費)

災害に強い管路への改良及び老朽化した管路の更新に取り組みます。



幹線道路や生活道路などのインフラ整備

◆市道赤土高橋線整備事業(掛川浜岡線バイパス整備事業) **継続** 《 304,802千円》

※R4繰越明許含む

掛川浜岡線小笠バイパスの赤土地区から高橋地区を結ぶ幹線道路である市道赤土高橋線の整備を行います。



◆市道大須賀金谷線整備事業 **継続** 《 61,056千円》

市内東西を結ぶ幹線道路である市道大須賀金谷線の整備を行います。

基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

◆市道井矯堂線整備事業

継続

《 75,430千円》

市内東西を結ぶ幹線道路である市道井矯堂線の整備を行います。

◆青葉通り嶺田線整備事業

継続

《 19,056千円》

※R4繰越明許含む

都市計画道路青葉通り嶺田線の物件調査業務及び関係機関協議を進めます。

◆潮海寺地区計画事業

継続

《 47,861千円》

官民協働で潮海寺地区の都市基盤整備を行い、狭隘道路整備率の向上及び住環境の改善を図ります。

1-5号線改良工事及び物件移転補償、4-4、4-5、4-6号線測量設計、不動産鑑定評価及び用地買収を実施します。

道路橋梁長寿命化

◆道路橋梁長寿命化事業

継続

※R4繰越明許含む

《 202,530千円》

インフラ施設の長寿命化を図るため、橋梁やトンネルについて点検を実施し、補修工事を行います。



基本目標4

快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

◆防災・安全事業 **継続** 《 44,584千円》

インフラ施設の長寿命化を図るため、劣化した舗装について設計を実施し、補修工事を行います。



◆駅北整備事業 **継続** 《 5,336千円》

駅北地区の面的整備のまちづくり計画を作成し、事業化に向けて検討します。

◆駅南北自由通路整備事業 **継続** 《 748,277千円》

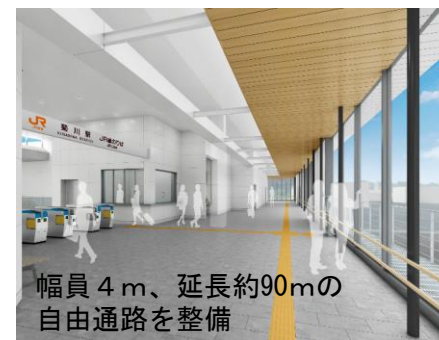
※R4線越明許含む

JRとの協定工事委託である南北自由通路及び橋上駅舎化整備工事における主として仮設駅舎整備工事費、既設駅舎構内における店舗及び広告看板等への物件移転補償業務を実施します。

菊川駅北整備

◆都市計画推進事業 **継続** 《 7,249千円》

駅周辺の賑わいづくりを目的に周辺のオープンスペースを活用した滞留空間の創出や商業施設の立地を促すため、空間活用構想を作成します。





基本目標 5

まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち

コミュニティ・
自助・共助・公助

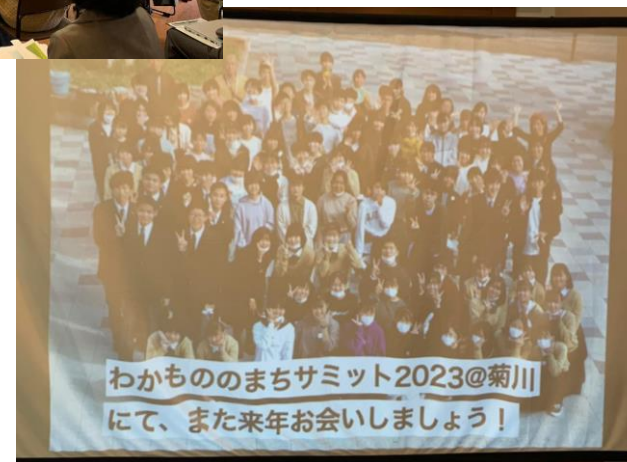
市民協働と新しい生活様式に合った地域活動

◆協働のまちづくり推進事業 **継続** 《 423千円》

各地区コミュニティ協議会の運営を支援するとともに、菊川市協働の指針に基づく協働事業の推進と進捗状況の管理を行います。

◆地域企画推進事業 **継続** 《 17,157千円》

市民自らが計画し実践する地域づくり活動への財政支援を行うことで、地域活動の活性化を促進します。また、高校生が計画する活動や、若者支援団体が本市で開催を計画している全国サミットなど、様々な活動を支援します。



外国人住民・多文化共生

◆多文化共生地域づくり推進事業 **継続**

《 1,300千円》

多文化共生社会の実現に向け「第4次菊川市多文化共生推進行動指針」に基づく取組の推進と、多文化共生意識の醸成や人材育成等を目的とした講座を開催します。



◆外国人受入環境推進事業 **継続** 《 9,137千円》

外国人住民に対する多言語での情報提供や生活上の相談について、対面や電話等により多言語で対応し、

関係機関への取次等を行うため、外国人相談窓口を運営します。また、外国人住民が転入手続き等の時間を利用して視聴する生活オリエンテーション動画を制作します。

プラザきくるを核とした賑わいの好循環創出

◆市民協働型庁舎東館周辺賑わい創出事業 **継続**

《 216千円》

地域住民や地元商店街、市内事業者、若者等とともに、「市民の力による賑わいの創出」を実現するための取組を推進します。

市民の自主的な活動への支援

◆市民協働センター活動推進事業費 **拡充**

《 17,444千円》

市民をはじめ団体や学校、企業など多様な主体の自主的な活動を支援します。



基本目標 5

まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち

コミュニティ・
自助・共助・公助



魅力・情報発信力の強化

◆情報発信・発信力向上事業

継続

《 12,800千円》

※再掲あり(基本目標 4:災害情報発信事業)

市からの情報をあらゆる媒体を通じて市内外へ届けられるよう、広報紙の発行や、ホームページ・公式SNS・dボタンなどの効果的な運用を図ります。また、全庁的な情報発信力向上に向けた取組を推進します。

◆魅力発信事業

拡充

《 4,379千円》

昨年度迎えた「営業戦略アドバイザー」に引き続き助言、提案をいただき、「きくがわ応援大使」の運用や「茶畑の中心で愛を叫ぶ」の開催などを通して、菊川市の魅力と元気を市内外へ発信します。



市制20周年へ向けた準備

◆市制20周年記念事業 **新規** 《 1,464千円》

令和7年1月17日に市制20周年を迎えるにあたり、まち全体がひとつとなってお祝いする機運を醸成するため、ロゴマークの作成などの準備を進めます。

新婚世帯に本市を選んでもらう取組

◆出会い・結婚サポート事業 **拡充** 《 9,085千円》

夫婦の所得要件を緩和し、新規に婚姻した世帯に対し、新生活に伴う居住費などを支援します。また、県が設置した「ふじのくに結婚応援協議会」へ参加し、マッチングシステムによる出会いの場の提供など結婚を希望する人の出会いをサポートします。

「サービス業並みのおもてなし」の実現に向けた人材育成

◆接客力向上事業 **拡充** 《 110千円》

若手職員を「接客トレーナー」として育成するため、たこ満様の店舗で現場実習を実施します。また、市長を最高責任者、部長級職員を推進責任者、課長級職員を接客リーダーに位置付け、管理職が中心となり全庁を挙げて接客力の向上に取り組めます。





基本目標 5

まちづくりに市民と行政が共に取り組むまち

コミュニティ・
自助・共助・公助

デジタル力を活用した行政サービスの向上

◆ICT施策推進事業 **継続** 《 22,414千円》
施設予約システムや地方税電子申告システム、住民票の写し等のコンビニ交付などオンライン申請の活用により市民の利便性向上を図ります。

◆道路台帳電子化事業 **継続** 《 75,750千円》
地域事業者等の来庁負担軽減を図るため、道路台帳の電子化(数値化・構造化)を進めます。

行政の効率化、標準化・共通化

◆庁内情報システム運用事業 **拡充** 《 113,629千円》
RPAの活用やリモート会議などにより事務の効率化を進めます。また、令和7年度までに対応する自治体情報システムの標準化・共通化の事前準備として、文字同定作業等の業務を進めます。

組織力の向上と市政運営

◆人事管理事業 **新規** 《 2,580千円》
職員の定年年齢が段階的に引き上げられることに伴う人事・給与制度の変更に対応するため、システムの改修を行います。

◆政策推進事業 **新規** 《 10,853千円》
次期菊川市総合計画の策定に向け、今後目指すべき将来の方向性の検討や市民意識調査等を行います。

持続可能な行政経営の実現

◆行政経営推進事業 **継続** 《 8,900千円》
・持続可能な行政経営の実現に向けて、「菊川市行政経営推進方針2022」に基づき、スピード感を持って集中的に取り組むべき行政課題の解決を図ります。
・行政評価・実行計画策定・予算編成までを一連の流れとして、PDCAを効果的に回すための「行政経営システム」の活用により、行政資源の効率的な配分を行います。